

The 60th Annual Meeting of Japanese Medical Society of Alcohol and Addiction Studies

第60回日本アルコール・アディクション医学会学術総会

プログラム

特別講演

教育講演

シンポジウム

市民公開講座

産業医研修会

ワークショップ

柳田賞受賞講演

ランチオンセミナー

スポンサードシンポジウム

10月23日(木) 第1会場 [一橋講堂 (2F)]

9:30-9:50 開会式

10:00-12:00 特別講演 SL1

アディクション研究の温故知新 3学会統合

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

SL1-1 3学会統合：世界に通じる依存・嗜癖学会を目指した道のり

宮田 久嗣^{1,2)}、齋藤 利和^{3,4)}

¹⁾ 平川病院 ²⁾ 東京慈恵会医科大学 精神医学講座 ³⁾ 博友会 平岸病院 ⁴⁾ 札幌医科大学

SL1-2 アディクション薬理研究の温故知新

池田 和隆^{1,2)}

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター ²⁾ 東京都医学総合研究所

SL1-3 学際的学会における意識多様性の融合

白石 光一

ウェルエイジング日本橋クリニック

SL1-4 3学会統合：法人化後の軌跡と今後の課題

堀江 義則

ケアアイクリニック

13:20-14:50 シンポジウム2 S2

日本肝臓学会合同シンポジウム「アルコール関連肝疾患の診断における新潮流」

企画：高見 太郎 (山口大学消化器内科)

今 一義 (順天堂大学消化器内科)

座長：寺井 崇二 (新潟大学大学院 医歯学総合研究科 消化器内科学分野)

池嶋 健一 (順天堂大学大学院医学研究科消化器内科学)

S2-1 アルコール関連肝疾患の新しい定義と疫学

小木曾 智美

東京女子医科大学

S2-2 ALDの診断における飲酒マーカーの役割

今 一義、森永 真紀、内山 明、福原 京子、池嶋 健一

順天堂大学医学部消化器内科

S2-3 アルコール関連肝疾患診療における非侵襲的検査の意義 —MASLD診療を踏まえて—

芥田 憲夫

虎の門病院肝臓内科

S2-4 ALDを含む脂肪性肝疾患における画像診断

小林 貴、米田 正人

横浜市立大学医学部肝胆膵消化器病学

15:00-16:30 シンポジウム4 S4**「食べる」行為はなぜ嗜癖化するか？～食品・嗜好品の適正使用を考える**

企画・座長：廣中 直行（東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト）
宮田 久嗣（医療法人社団光生会 平川病院 / 東京慈恵会医科大学 精神医学講座）

指定発言：高田 孝二（帝京大学文学部心理学科）

S4-1 油脂が高嗜好性を発揮するメカニズム

松村 成暢
大阪公立大学

S4-2 ノンアル・デカフェ・ベイプー「味と香り」が演出する嗜好ー

志方 比呂基
日本たばこ産業（株） Global Tobacco Business, Research & Development

S4-3 エナジードリンクにハマるのはどんな人か？

吉野 伸哉
公益財団法人医療科学研究所

S4-4 臨床精神医学から摂食障害と嗜癖の関係を考える

宮田 久嗣^{1,2)}
¹⁾ 平川病院 ²⁾ 東京慈恵会医科大学 精神医学講座

10月23日(木) 第2会場 [中会議場3・4 (2F)]**10:00-11:30 シンポジウム1 S1****ハームリダクションの実践に向けて：それぞれの役割と協働**

企画・座長：高野 歩（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部）

S1-1 薬物を使用することがある人々との協働研究：

バンクーバーにおけるCommunity-based participatory researchの事例から
林 神奈
Faculty of Health Sciences, Simon Fraser University

S1-2 ハウジングファースト型支援の実践におけるハームリダクション

川島 美由紀¹⁾、木津 英明^{1,2,3)}
¹⁾ ゆうりんクリニック ²⁾ つくろい東京ファンド ³⁾ サンカクシャ

S1-3 ハームリダクションの実践について思うこと：当事者の視点から

風間 暁
認定特定非営利活動法人ASK

S1-4 精神医学的主体性とハームリダクション：文化人類学研究による考察

Atici Selim^{1,2)}
¹⁾ University of Tokyo ²⁾ Princeton University

12:10-13:10 ランチョンセミナー1 LS1

沢井製薬株式会社

アルコール問題への早期介入と治療ギャップを埋めるー私の歩みと次世代に託す課題ー

座長：堀江 義則 (ケイアイクリニック)

LS1

アルコール問題への早期介入と治療ギャップを埋めるー私の歩みと次世代に託す課題ー

杠 岳文

医療法人社団宗仁会筑後吉井こころホスピタル

13:20-14:50 シンポジウム3 S3

デジタルデバイスを利用した医療的・心理的支援に関する研究：研究の成果と裏話

企画：高野 歩 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)

座長：高野 歩 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)

宋 龍平 (岡山県精神科医療センター臨床研究部)

S3-1

AIを活用したゲーム行動症の早期判別・早期介入支援システムの開発研究

小林 七彩

東京科学大

S3-2

レジリエンスの自己理解を促進するwebアプリケーション

平野 真理

お茶の水女子大学

S3-3

飲酒量低減治療補助アプリの医療機器製造販売承認と保険適用希望

宋 龍平^{1,2)}

¹⁾株式会社CureApp ²⁾岡山県精神科医療センター

S3-4

スマホアプリとウェアラブルデバイスを用いたEcological Momentary Assessment

高野 歩

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

15:00-16:30 シンポジウム5 S5

生活習慣病治療からみた飲酒量低減の必要性和その対策

企画・座長：吉本 尚 (筑波大学健幸ライフスタイル開発研究センター)

堀江 義則 (ケイアイクリニック)

S5-1

生活習慣病疾患管理における飲酒量低減の必要性

堀江 義則

ケイアイクリニック

S5-2

公衆衛生学から見た生活習慣病疾患管理における飲酒量低減の必要性

桑原 祐樹

鳥取大学医学部環境予防医学分野

S5-3

アルコール低減外来での依存症治療を通した生活習慣病管理

斉藤 剛¹⁾

¹⁾ 健幸ライフスタイル開発研究センター ²⁾ 筑波大学附属病院

S5-4

プライマリ・ケア機能を担う診療所における生活習慣病管理と飲酒量低減治療の実際

田代 直寛^{1,2)}

¹⁾ 亀田ファミリークリニック館山 ²⁾ 穎田病院

S5-5

大学生を含む若年者のアディクション関連問題と対応

吉本 尚^{1,2)}

¹⁾ 筑波大学 健幸ライフスタイル開発研究センター ²⁾ 筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学

10月23日(木) 第3会場 [中会議場1・2 (2F)]

16:40-17:20 理事会

10月24日(金) 第1会場 [一橋講堂 (2F)]

9:30-11:00 シンポジウム6 S6

薬物乱用問題を捉える上で、離脱症状を理解する (学術委員会)

企画：森 友久 (星薬科大学 行動可塑性制御研究室)

座長：廣中 直行 (東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト)

鶴身 孝介 (京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学))

S6-1 モルヒネ離脱の苦しみを基礎研究から考察する

森 友久

星薬科大学 行動可塑性制御研究室

S6-2 アルコール依存症治療専門病棟における離脱管理の実際と看護師の役割・意義について

杉山 昌儀

医療法人稲門会いわくら病院

S6-3 麻酔科公認心理師からみたオピオイド鎮痛薬の退薬症候

武村 尊生^{1,2)}、山口 重樹²⁾

¹⁾東北福祉大学 総合福祉学部福祉心理学科 ²⁾獨協医科大学 医学部麻酔科学講座

S6-4 離脱症状の精神病理学：身体化する心の痛みと向き合う

小林 桜児

神奈川県立精神医療センター

11:10-11:50 教育講演 EL

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

EL アルコールアディクションにおける依存モデルの再検討

吉本 寛司^{1,2)}

¹⁾広島大学大学院医系科学研究科 法医学 ²⁾京都工場保健会 総合医学研究所

13:20-15:20 スポンサーシップシンポジウム1 SS1

アッヴィ合同会社

薬物依存症におけるC型肝炎ウイルス撲滅のための連携強化
～PWUD (People Who Used Drugs) 対策を考える～

座長：持田 智 (埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科)

成瀬 暢也 (地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立精神医療センター)

SS1-1 薬物依存症治療医療機関におけるウイルス性肝炎の検査・治療・医療連携の必要性について

堀江 義則

ケイアイクリニック

SS1-2 薬物依存症患者のHCV治療推進の意義

成瀬 暢也

地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立精神医療センター

SS1-3

埼玉県における薬物依存患者へのC型肝炎治療の取り組みと今後の課題

内田 義人、持田 智

埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科

SS1-4

山口県におけるHCV eliminationを目指した薬物使用者に対する取り組み

高見 太郎^{1,2)}、佐々木 嶺¹⁾¹⁾ 山口大学医学部附属病院 肝疾患センター ²⁾ 山口大学大学院医学系研究科 消化器内科学

SS1-5

刑務所出所者に対してどう情報提供を行うか？

～保護観察から地域精神保健福祉への橋渡しの試みから～

松本 俊彦

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

15:30-17:30 スポンサーシンポジウム2

SS2

大塚製薬株式会社

アルコール依存症のリハビリを目指した治療戦略 ～減酒治療の可能性

座長：樋口 進 (久里浜医療センター)

SS2-1

セリンクロの飲酒量低減効果のメカニズム

宮田 久嗣^{1,2)}¹⁾ 東京慈恵会医科大学 精神医学講座 ²⁾ 医療法人社団光生会 平川病院

SS2-2

セリンクロ市販後の飲酒量低減治療の現状

堀江 義則

医療法人社団慶洋会 ケイアイクリニック

SS2-3

プライマリケアでの減酒治療

～アルコール低減外来に5年以上受診した患者をリハビリの視点で振り返る

吉本 尚^{1,2)}¹⁾ 筑波大学医学医療系 地域総合診療医学 ²⁾ 筑波大学健康ライフスタイル開発研究センター

座長：宮田 久嗣 (東京慈恵会医科大学 精神医学講座 / 医療法人社団光生会 平川病院)

SS2-4

認知機能低下に着目したアルコール依存症介入

～脳血流SPECT解析に基づく治療動機付けとその実際～

白坂 知彦

医療法人 湊仁会 手稲湊仁会病院 精神保健科

SS2-5

セリンクロによるアルコール依存症に対する回復援助

村山 昌暢、星野 隆之、菊池 裕子、北村 徳章、松本 功、竹村 道夫

特定医療法人 群馬会 赤城高原ホスピタル

18:00-20:00 懇親会

会場：如水会館「松風の間」

10月24日(金) 第2会場 [中会議場3・4 (2F)]

9:30-11:00 シンポジウム7 S7

**アディクション研究による知見を実際の支援現場で活かすには：
大学生の物質使用と嗜癖行動に焦点を当てて**

企画・座長：新井 清美 (信州大学 学術研究院保健学系)
喜多村 真紀 (国立精神・神経医療研究センター)

S7-1 アルコールと労働パフォーマンス ～アブセンティズム・プレゼンティズムの視点から～
吉本 尚^{1,2)}

¹⁾ 筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター ²⁾ 筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学

S7-2 大学教職員の「一般的な視点」とカウンセラーの相互理解に向けて

有馬 慧

日本大学学生支援センター

S7-3 学生アスリートのアディクションへの支援の現状

新井 清美

信州大学 学術研究院保健学系

S7-4 アディクション問題を有する大学生への支援強化に向けた学内支援機関の役割と課題

喜多村 真紀^{1,2)}

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 ²⁾ 医療法人社団アパリ アパリクリニック

12:10-13:10 ランチョンセミナー2 LS2

エーザイ株式会社

アルコール依存症と不眠症

座長：白坂 知彦 (医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院)

LS2 アルコール依存症と不眠症 – 依存と睡眠障害の相互関係に迫る –

菱本 明豊

神戸大学大学院 医学研究科 精神医学分野

13:20-14:50 シンポジウム9 S9

みんなで考えようオーバードーズ対策：基礎・臨床・予防・販売それぞれの観点から

企画：嶋根 卓也 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)

座長：嶋根 卓也 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所)

富山 健一 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部)

S9-1 全国の依存症専門医療機関を受診する患者における市販薬乱用の実態に関する研究

宇佐美 貴士¹⁾、松本 俊彦²⁾、嶋根 卓也²⁾

¹⁾ 福岡県立精神医療センター太宰府病院 ²⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

S9-2**濫用等のおそれのある医薬品の追加候補となる薬剤に関する文献的調査**富山 健一¹⁾、石井 香織^{1,2)}、大谷 暢子¹⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部²⁾ 国立精神・神経医療研究センター病院 薬剤部**S9-3****ソーシャル・ネットワーキング・サービスを情報源とするテキストマイニングおよび予防啓発に関する研究**喜多村 真紀¹⁾、高田 雅弘^{1,2)}、江藤 不二子¹⁾、首藤 誠²⁾、嶋根 卓也¹⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 ²⁾ 摂南大学 薬学部³⁾ 有限会社綾部ファーマシー 綾部薬局**S9-4****市販薬の販売に従事する薬剤師向けゲートキーパー研修プログラムの開発について**嶋根 卓也¹⁾、片山 宗紀^{1,2)}、榊原 幹夫³⁾、松本 俊彦¹⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 ²⁾ 北里大学医学部精神科学³⁾ 公益財団法人杉浦記念財団**15:30-17:00 シンポジウム10 S10****アルコール・薬物による臓器障害モデルのこれから**

企画：西谷 陽子（京都大学大学院医学研究科法医学講座）

座長：西谷 陽子（京都大学大学院医学研究科法医学講座）

片田 竜一（神戸大学大学院医学研究科 法医学分野）

S10-1**慢性飲酒モデルにおける温故知新：
慢性アルコール性筋萎縮の分子メカニズムに関する新知見**

新谷 香

京都府立医科大学大学院医学研究科法医学教室

S10-2**コカイン濫用モデルラットにおける胸腺と脾臓の萎縮**

秋 利彦、鷗沼 香奈

東京科学大医歯学総合研究科法医学分野

S10-3**ヒトの複雑なMASH病態を理解するためのマウスモデル**

宮尾 昌、三浦 颯人、西谷 陽子

京都大学大学院医学研究科法医学講座

S10-4**脳浮腫の法医学的研究手法—頭部外傷モデルを中心に—**片田 竜一^{1,2)}、杉本 香奈²⁾、楊 志斌²⁾、山崎 元太郎¹⁾、近藤 武志¹⁾、松本 博志²⁾¹⁾ 神戸大学大学院医学研究科法医学分野 ²⁾ 大阪大学大学院医学系研究科法医学教室**S10-5****Zebrafishモデル**

前田 秀将

大阪大学 法医学教室

10月24日(金) 第3会場 [中会議場1・2 (2F)]

9:30-11:00 シンポジウム8 S8

アルコール関連臓器障害と発がん

企画：福原 京子 (順天堂大学消化器内科)
今 一義 (順天堂大学消化器内科)
座長：今 一義 (順天堂大学消化器内科)
白石 光一 (ウェルエイジング日本橋クリニック)

S8-1

飲酒による発がん・総論

福原 京子、今 一義、山科 俊平、内山 明、森永 真紀、池嶋 健一
順天堂大学医学部消化器内科

S8-2

飲酒と食道扁平上皮癌

横山 顕
国立病院機構久里浜医療センター

S8-3

アルコールと肝がん

佐々木 嶺、高見 太郎
山口大学大学院医学系研究科消化器内科学

S8-4

アルコールと膵がん

中井 陽介、中林 良太、島松 裕、大塚 奈央、白田 龍之介、高山 敬子、菊山 正隆
東京女子医科大学消化器内科

15:30-17:00 シンポジウム11 S11

アスリートの特徴とアディクション対策・支援の提案

企画：新井 清美 (信州大学 学術研究院保健学系)
座長：森田 展彰 (筑波大学 医学医療系)
鶴身 孝介 (京都大学大学院 医学研究科)
指定討論：森田 展彰 (筑波大学 医学医療系)

S11-1

わが国の競技者を取り巻く状況とアスリート心性

今井 恭子、新井 清美、森田 展彰、鶴身 孝介、太原 靖一郎
早稲田大学スポーツ科学学術院

S11-2

なぜ、アスリートはのめり込むのかーキャリア支援の視点からー

太原 靖一郎
共栄大学 国際経営学部

S11-3

なぜ、アスリートはのめり込むのかー神経基盤解明へ向けた課題と展望ー

鶴身 孝介
京都大学大学院医学研究科脳病態生理学講座 (精神医学)

S11-4

競技シーズンによる違いを探る

新井 清美、近藤 協子
信州大学 学術研究院保健学系

S11-5

アスリートにおけるアディクションのリスクからその予防・支援を考える

森田 展彰

筑波大学

10月25日(土) 第1会場 [一橋講堂 (2F)]**10:00-11:00 特別講演2 SL2****アディクション研究の温故知新「アルコールと動脈硬化」**

座長：神田 秀幸 (岡山大学学術研究院医歯薬学域公衆衛生学)

SL2

アルコールと動脈硬化

若林 一郎

兵庫医科大学医学部社会医学講座予防医学部門

11:10-12:10 特別講演3 SL3**アディクション研究の温故知新「飲酒の法医学鑑定の問題点」**

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

SL3

飲酒の法医学鑑定の問題点

藤宮 龍也

特別養護老人ホーム西山寮診療所

13:20-14:20 市民公開講座1 CL1**アルコール・薬物の身体への影響**

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

CL1

お酒と身体の意外な関係：「見逃してはいけない」臓器のサインとは？

今 一義

順天堂大学医学部消化器内科

14:20-15:20 市民公開講座2 CL2**アルコール・薬物の心への影響**

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

CL2

様々なアディクションからみる心の影響

～アルコール・ギャンブル・ゲームの問題を抱える方の心を理解する～

白坂 知彦、常田 深雪

医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院

16:00-16:30 柳田賞受賞講演 YA

座長：池田 和隆 (国立精神・神経医療研究センター精神薬理研究部 / 東京都医学総合研究所依存性物質プロジェクト)

YA

治療プログラムからみたアルコール依存症治療の変遷と今後の展望

木村 充

国立病院機構 久里浜医療センター

17:10-17:30 閉会式

10月25日(土) 第2会場 [中会議場3・4 (2F)]

9:30-11:00 シンポジウム12 S12

Postmortem Brainからの最新知見：アルコール・アディクション病態を考える

企画：松本 博志 (大阪大学大学院医学系研究科法医学教室 / 大阪大学次のいのちを守る人材育成教育研究センター)

座長：尾崎 紀夫 (名古屋大学大学院 医学系研究科 精神疾患病態解明学)

松本 博志 (大阪大学大学院医学系研究科法医学教室 / 大阪大学次のいのちを守る人材育成教育研究センター)

S12-1

アルコール依存症ブレインバンク

村山 繁雄^{1,3)}、別宮 豪一²⁾、齊藤 祐子³⁾

¹⁾ 大阪大学連合大学院連合小児発達学研究所 ²⁾ 大阪大学医学系大学院医学系研究科神経内科学

³⁾ 東京都健康長寿医療センター

S12-2

統合失調症の病態解明と病態に基づく治療法開発：22q11.2欠失に着目して

尾崎 紀夫

名古屋大学大学院 医学系研究科 精神疾患病態解明学

S12-3

疾患ゲノム研究とオミクス解析

岡田 随象^{1,2,3)}

¹⁾ 東京大学大学院医学系研究科 ²⁾ 大阪大学大学院医学系研究科 ³⁾ 理化学研究所生命医科学研究センター

S12-4

自殺とゲノム変異

松本 博志^{1,2)}

¹⁾ 大阪大学大学院医学系研究科法医学教室 ²⁾ 大阪大学次のいのちを守る人材育成教育研究センター

12:20-13:10 評議員会

13:20-14:50 シンポジウム13 S13**アルコール診療の多職種連携を構築する<マッチング企画>**

企画：菊池 真大 (用賀さくち内科 肝臓・内視鏡クリニック / 東海大学医学部)

座長：菊池 真大 (用賀さくち内科 肝臓・内視鏡クリニック / 東海大学医学部)

杉原 正子 (まさこ心のクリニック自由が丘)

S13-1 チーム医療として内科医が果たすべき役割は

菊池 真大^{1,2)}、飯島 陽香¹⁾、宇井 亜希子¹⁾、佐藤 麻衣¹⁾、坂上 紀子¹⁾、多田 絵美里¹⁾、飯田 浪江¹⁾、菊池 美穂¹⁾

¹⁾用賀さくち内科 肝臓・内視鏡クリニック ²⁾東海大学医学部

S13-2 「病病診連携」から「病病診診連携」へ～多職種連携の視点から～

杉原 正子^{1,2,3,4)}

¹⁾まさこ心のクリニック自由が丘 ²⁾独立行政法人 国立病院機構 東京医療センター

³⁾独立行政法人 国立病院機構 久里浜医療センター ⁴⁾東京科学大学大学院医師歯学総合研究科

S13-3 「架け橋プロジェクト」(烏山版架け橋モデル)の実践と課題

水野 有紀

昭和医科大学烏山病院

S13-4 総合病院における精神科リエゾンチームと看護師の役割の再考

佐藤 寧子^{1,2)}

¹⁾淀川キリスト教病院 ²⁾大阪大学大学院医学系研究科

15:00-16:30 シンポジウム14 S14**ベンゾジアゼピン系医薬品は何故よくないのか？****～精神科医・基礎研究者・臨床薬剤師・政策的な観点から～**

企画：新田 淳美 (富山大学学術研究部薬学・和漢系 薬物治療学研究室)

座長：新田 淳美 (富山大学学術研究部薬学・和漢系 薬物治療学研究室)

重面 雄紀 (京都大学医学部附属病院 薬剤部)

S14-1 ベンゾジアゼピンの薬理効果に対する基礎研究

芝崎 真裕

星薬科大学 組織再生学研究室

S14-2 うつ病患者へのベンゾジアゼピン睡眠薬が効かない理由の解明

重面 雄紀

京都大学医学部附属病院

S14-3 ベンゾジアゼピンの重篤副作用 ～ 病院薬剤師に何が出来るか？

萱野 勇一郎

大阪府済生会中津病院

S14-4 ベンゾジアゼピンの出口戦略

稲田 健

北里大学医学部精神科学

10月25日(土) 第3会場 [中会議場1・2 (2F)]

13:20-15:20 産業医研修会 産業医研修

職場におけるアルコール関連問題と産業医の役割 ～リスクの理解と実践的対応～

企画：金城 文 (鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)

座長：金城 文 (鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)

尾崎 米厚 (鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野)

産業医研修-1 職場におけるアルコール関連問題とその対応 ～現状・課題・企業がとるべき対策～

伊東 明雅

朝日新聞社コーポレート本部労務部 (健康管理)

産業医研修-2 一般医療機関での生活習慣病疾患管理における飲酒量低減

吉本 尚^{1,2)}

¹⁾ 筑波大学 健康ライフスタイル開発研究センター ²⁾ 筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学

産業医研修-3 アルコールとメンタルヘルス ～ストレス・うつ・不安との関係と職場での対応～

真栄里 仁

独立行政法人国立病院機構琉球病院

**産業医研修-4 産業医は職場でのアルコール関連問題にどのように関われるか？
～推奨される早期発見と支援にむけた取り組みの一例～**

桑原 祐樹

鳥取大学医学部環境予防医学分野

15:30-17:00 ワークショップ WS

心を動かす対話法—動機づけ面接による実践的アプローチ (ワークショップ)

企画：白坂 知彦 (手稻溪仁会病院 精神保健科)

原田 隆之 (筑波大学 人間系)

座長：小松 知己 (沖縄協同病院 リエゾンセンター)

WS

動機づけ面接WS 心を動かす対話法 —動機づけ面接による実践的アプローチ

白坂 知彦¹⁾、小松 知己²⁾、常田 深雪¹⁾、原田 隆之³⁾

¹⁾ 医療法人溪仁会 手稻溪仁会病院 ²⁾ 沖縄協同病院 リエゾンセンター ³⁾ 筑波大学 人間系

The 60th Annual Meeting of Japanese Medical Society of Alcohol and Addiction Studies

第60回日本アルコール・アディクション医学会学術総会

プログラム

一般演題（口演）

10月23日(木) 第3会場 [中会議場1・2 (2F)]

13:20-14:10 一般演題1 O1

内科・法医学

座長：菊池 真大 (用賀きくち内科 肝臓・内視鏡クリニック / 東海大学医学部)

池谷 博 (京都府立医科大学法医学教室)

O1-1 アルコール依存症の入院患者への漢方薬投与と間質性肺炎の高頻度発生 (1987-1994年)

横山 顕、松下 幸生

国立病院機構久里浜医療センター

O1-2 %CDTおよびγGT-CDTを用いた脂肪性肝疾患の診断

森永 真紀、今 一義、福原 京子、内山 明、柳沼 礼子、石塚 敬、多田 昌弘、深田 浩大、山科 俊平、池嶋 健一

順天堂大学医学部消化器内科

O1-3 アルコール多飲歴のある初発肝細胞癌患者に対する経皮的焼灼療法の有効性

清水 遼、井田 良幸、兼久 亮、山田 裕規、長井 善隆、前島 秀哉、北野 雅之

和歌山県立医科大学 内科学第2講座

O1-4 急性メタノール中毒の一部検例

近藤 武史、高橋 玄倫、山崎 元太郎、上野 易弘、片田 竜一

神戸大学大学院医学研究科法医学分野

O1-5 エチレングリコール中毒における腎障害および尿細管上皮細胞障害の検討

伊佐 真太郎、秋 利彦、鵜沼 香奈

東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 医歯学専攻 環境社会医歯学講座 法医学分野

14:20-15:00 一般演題2 O2

精神科1

座長：白坂 知彦 (手稲溪仁会病院 精神保健科)

O2-1 若年層のギャンブル障害患者のプロフィール実態調査

金織 来多、上村 敬一、宇佐美 貴士

うえむらメンタルサポート診療所

O2-2 インターネットライブ配信の現状と問題点

西村 光太郎^{1,2)}、松崎 尊信¹⁾、松下 幸生¹⁾、樋口 進¹⁾、三原 聡子¹⁾、前園 真毅¹⁾、北湯口 孝¹⁾、尾崎 淳¹⁾、石渡 春花¹⁾、金 泰希^{1,2)}

¹⁾ 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター ²⁾ こころのクリニックひだまり

O2-3 記録用紙を活用した生活支援の試み

— 精神科デイケアにおける薬物依存症患者の食事・金銭管理への支援 —

井ノ口 恵子、村岡 香奈枝

医療法人社団アパリ アパリクリニック

02-4

外来アルコールプログラムを4種類に分けて行う利点と難しさ

倉田 勉、堀内 麻代、渡邊 堅太、平田 歩、高橋 友恵、倉田 恵美

ふさのくにメンタルクリニック

15:10-15:50 一般演題3 03

公衆衛生・疫学1

座長：金城 文（鳥取大学環境予防医学分野）

03-1

全国実態調査における日本国民のアルコール依存症の実態

柴山 笑凜^{1,2)}、松下 幸生¹⁾、新田 千枝^{1,3)}、古賀 佳樹¹⁾、浦山 悠子¹⁾、辻本 耐^{1,4)}、遠山 朋海¹⁾、松崎 尊信¹⁾、西村 光太郎^{1,5)}、木村 充¹⁾¹⁾ 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター²⁾ 東京大学大学院教育学研究科附属 学校教育高度化・効果検証センター ³⁾ 筑波大学 医学医療系⁴⁾ 南山大学社会倫理研究所 ⁵⁾ こころのクリニックひだまり

03-2

デキストロメトルファンによる市販薬関連精神障害の特徴：
依存症専門医療機関に対する市販薬調査より宇佐美 貴士¹⁾、松本 俊彦²⁾、嶋根 卓也²⁾¹⁾ 福岡県立精神医療センター太宰府病院 ²⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

03-3

ハームリダクション実践における重要な要素：
フォーカスグループインタビューと文献レビューによる質的研究高野 歩¹⁾、水野 聡美¹⁾、片山 宗紀¹⁾、堤 史織¹⁾、新田 慎一郎¹⁾、大野 昂紀¹⁾、安間 尚徳^{2,3)}、塩澤 拓亮^{2,4)}、嶋根 卓也¹⁾、松本 俊彦¹⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部²⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部³⁾ 医療法人社団順風会 上尾の森診療所 ⁴⁾ 東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 精神保健看護学分野

03-4

ハームリダクション実践における重要な要素：デルファイ調査

高野 歩¹⁾、水野 聡美¹⁾、片山 宗紀¹⁾、堤 史織¹⁾、新田 慎一郎¹⁾、大野 昂紀¹⁾、安間 尚徳^{2,3)}、塩澤 拓亮^{2,4)}、嶋根 卓也¹⁾、松本 俊彦¹⁾¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部²⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域精神保健・法制度研究部³⁾ 医療法人社団順風会 上尾の森診療所 ⁴⁾ 東京科学大学 大学院保健衛生学研究科 精神保健看護学分野

10月24日金 第3会場 [中会議場1・2 (2F)]

11:10-11:50 一般演題4 04

精神科2

座長：宮田 久嗣（東京慈恵会医科大学 精神医学講座 / 医療法人社団光会 平川病院）

04-1

性的マイノリティである依存症患者の過剰適応傾向についての中間報告

西村 康平、板橋 登子

神奈川県立精神医療センター

04-2

思春期ゲーム行動症外来患者の心理社会的背景がインターネット・ゲーム使用時間および抑うつに及ぼす影響

板橋 登子、青山 久美、蒲池 和明、吉川 るみ子、金子 美由紀、齊藤 敬子
地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立精神医療センター

04-4

**アルコール依存症専門医療機関に治療を求める患者の臨床特徴
—多施設共同縦断観察研究：ALPS-Jより—**

浦山 悠子¹⁾、新田 千枝^{1,2)}、柴崎 萌未¹⁾、湯本 洋介¹⁾、真栄里 仁³⁾、遠山 朋海¹⁾、古賀 佳樹¹⁾、
木村 充¹⁾、松下 幸生¹⁾

¹⁾ 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター ²⁾ 筑波大学医学医療系 ³⁾ 独立行政法人国立病院機構琉球病院

13:20-13:50 一般演題5 05**公衆衛生・疫学2**

座長：神田 秀幸 (岡山大学大学院総合研究科公衆衛生学)

05-1

**大麻はゲートウェイドラッグなのか？：
市中大麻使用者を対象とした大規模オンライン調査二次解析**

正高 佑志^{1,2)}、片山 宗紀^{3,4)}、太組 一朗¹⁾、松本 俊彦³⁾

¹⁾ 聖マリアンナ医科大学脳神経外科 ²⁾ 一般社団法人Green Zone Japan ³⁾ 国立精神・神経医療センター
⁴⁾ 北里大学医学部精神科学

05-2

**日本の薬物依存症回復施設利用者における5年間の死亡率と死亡原因の分析：
DARC追っかけ調査の結果から**

水野 聡美、嶋根 卓也、猪浦 智史、喜多村 真紀、松本 俊彦
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

05-3

**アルコール依存症男性が主に飲むアルコール飲料の変遷 (1993-2024年) と飲料と
飲み方別の飲酒量の検討**

横山 顕
国立病院機構久里浜医療センター

14:35-15:25 一般演題6 06**公衆衛生・疫学3**

座長：菅谷 渚 (労働安全衛生総合研究所産業保健研究グループ)

06-1

**薬物関連の服役経験をもつ人々の出所後における困りごとと主観的な生活評価の関連：
時期・性別による特徴**

堤 史織^{1,2)}、高野 歩¹⁾、宇佐美 貴士¹⁾、熊倉 陽介¹⁾、金澤 由佳¹⁾、武林 亨³⁾、杉山 大典⁴⁾、
松本 俊彦¹⁾

¹⁾ 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
²⁾ 東京科学大学 環境・社会理工学院 ³⁾ 慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室
⁴⁾ 慶應義塾大学 看護医療学部

06-2

精神保健福祉センターにおけるゲーム関連問題に関する相談・支援の実態と課題

徳重 誠¹⁾、大野 昂紀^{2,3)}、藤城 聡⁴⁾、高野 歩²⁾

¹⁾ 東京大学大学院医学系研究科精神看護学分野
²⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
³⁾ 慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 ⁴⁾ 愛知県精神保健福祉センター

06-3

中学生における市販薬乱用の経験率の推計：
飲酒・喫煙・薬物乱用についての全国中学生意識・実態調査2024より

嶋根 卓也¹⁾、水野 聡美¹⁾、猪浦 智史^{1,2)}、邱 冬梅¹⁾、北垣 邦彦³⁾、小出 彰宏⁴⁾、富永 孝治⁵⁾、
竹原 健二⁶⁾

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 ²⁾ 新潟青陵大学看護学部看護学科
³⁾ 東京薬科大学薬学部社会薬学研究室 ⁴⁾ 横浜薬科大学薬学部レギュラトリーサイエンス研究室
⁵⁾ 日本薬剤師会 ⁶⁾ 国立成育医療研究センター研究所政策科学研究部

06-4

市販薬の乱用にはブランド嗜好性がある：
依存症専門医療機関を受診する患者を対象とする全国調査より

嶋根 卓也¹⁾、宇佐美 貴士^{1,2)}、松本 俊彦¹⁾

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 ²⁾ 福岡県立精神医療センター太宰府病院

06-5

市販薬の販売時における乱用リスクの認知について：
薬剤師向けゲートキーパー研修の効果に関する研究より

嶋根 卓也¹⁾、片山 宗紀^{1,2)}、榊原 幹夫³⁾、松本 俊彦¹⁾

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 ²⁾ 北里大学医学部精神科学
³⁾ 公益財団法人杉浦記念財団

10月25日(土) 第2会場 [中会議場3・4 (2F)]

16:40-16:50 一般演題10 O10

精神科3

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

O10-1

更生保護施設の退所者を地域の支援機関への橋渡しする地域連携支援プログラムの開発

森田 展彰¹⁾、野村 照幸²⁾、須江 泰子¹⁾、受田 恵理³⁾、道重 さおり⁴⁾、山田 理絵⁵⁾、井ノ口 恵子⁶⁾、
大宮 宗一郎⁷⁾、有野 雄大⁸⁾、吉羽 久美¹⁾、福島 忍¹⁾、梅本 和正¹⁾、菊地 創⁹⁾、新井 清美¹⁰⁾

¹⁾ 筑波大学人間総合科学学術院 ²⁾ 新潟医療福祉大学心理・福祉学部心理健康学科
³⁾ 小学館集英社プロダクション ⁴⁾ 神戸学院大学心理学部 ⁵⁾ 東京大学大学院総合文化研究科
⁶⁾ アパリクリニック ⁷⁾ 上越教育大学大学院 発達支援・心理臨床教育学系 ⁸⁾ 東京拘置所
⁹⁾ 愛知県立大学教育福祉学部 ¹⁰⁾ 信州大学学術研究院保健学系

10月25日(土) 第3会場 [中会議場1・2 (2F)]

9:10-9:50 一般演題7 O7

公衆衛生・疫学4、心理・看護・その他1

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

07-1

長野県内の行政保健師が行うアルコール関連問題への支援
～当事者へ行う支援への影響要因～

吉澤 麻美^{1,2)}、新井 清美³⁾

¹⁾ 大町保健福祉事務所 健康づくり支援課 ²⁾ 松本市保健所 保健予防課 ³⁾ 信州大学学術研究院保健学系

07-2

タイ王国における薬物乱用防止教育の特徴：
教育カリキュラムや保健の教科書から学べること猪浦 智史^{1,2)}、嶋根 卓也²⁾¹⁾新潟青陵大学看護学部 ²⁾国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

07-3

違法薬物と医薬品関連精神障害の比較
～精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態調査から～宇佐美 貴士¹⁾、西村 晃萌²⁾、沖田 恭治²⁾、山本 泰輔³⁾、谷淵 由布子⁴⁾、大宮 宗一郎⁵⁾、
松本 俊彦⁶⁾¹⁾福岡県立精神医療センター太宰府病院 ²⁾国立精神・神経医療研究センター 病院³⁾北海道大学大学院 医学研究院・医学院 社会医学分野 公衆衛生学教室 ⁴⁾医療法人同和会 千葉病院⁵⁾上越教育大学大学院 学校教育研究科 ⁶⁾国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

07-4

「故意の自傷や自殺企図」と薬物関連精神疾患に関連する要因の検討

宇佐美 貴士¹⁾、西村 晃萌²⁾、沖田 恭治²⁾、山本 泰輔³⁾、谷淵 由布子⁴⁾、大宮 宗一郎⁵⁾、
松本 俊彦⁶⁾¹⁾福岡県立精神医療センター太宰府病院 ²⁾国立精神・神経医療研究センター 病院³⁾北海道大学大学院 医学研究院・医学院 社会医学分野 公衆衛生学教室 ⁴⁾医療法人同和会 千葉病院⁵⁾上越教育大学大学院 学校教育研究科 ⁶⁾国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

10:00-10:40 一般演題8 08

心理・看護・その他2

座長：新井 清美 (信州大学 学術研究院保健学系)

08-1

X投稿文の対応分析が示す市販薬過量服薬に関する情報の継時的変化と
2023年の構造的特異性喜多村 真紀¹⁾、高田 雅弘^{1,2)}、江藤 不二子³⁾、首藤 誠²⁾、嶋根 卓也¹⁾¹⁾国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 ²⁾摂南大学 薬学部³⁾有限会社綾部ファーマシー 綾部薬局

08-2

X投稿文の共起分析による市販薬過量服薬の実態：
濫用等のおそれのある医薬品と未指定医薬品の比較より喜多村 真紀¹⁾、高田 雅弘^{1,2)}、江藤 不二子³⁾、首藤 誠²⁾、嶋根 卓也¹⁾¹⁾国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 ²⁾摂南大学 薬学部³⁾有限会社綾部ファーマシー 綾部薬局

08-3

日本語版4item-Mystical Experience Questionnaire (MEQ-4) および
7item-Challenging Experience Questionnaire (CEQ-7) の開発梅村 二葉^{1,2,3)}、古田島 浩子²⁾、Strickland Justin⁵⁾、Garcia-Romeu Albert^{5,6)}、
Johnson Matthew⁷⁾、池田 和隆^{1,2,4)}¹⁾新潟大学大学院 医歯学総合研究科 ²⁾東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト³⁾国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部⁴⁾国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部⁵⁾Department of Psychiatry and Behavioral Sciences, Johns Hopkins School of Medicine⁶⁾Center for Psychedelic and Consciousness Research, Johns Hopkins University School of Medicine⁷⁾Center of Excellence in Psilocybin Research and Treatment, Sheppard Pratt

08-4

アディクション治療共同体研修プログラムの実施可能性と予備的効果の検討

引土 絵未^{1,2)}、毛利 真弓³⁾、坂東 希⁴⁾、小川 恵美子⁵⁾、井上 智恵⁶⁾、近藤 京子⁷⁾、堀口 忠利⁸⁾¹⁾日本女子大学 ²⁾国立精神・神経医療研究センター ³⁾同志社大学 ⁴⁾大阪公立大学⁵⁾大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程 ⁶⁾立命館大学人間科学研究科 ⁷⁾オンブレ・ジャパン⁸⁾Base for Addiction Counseling Services and Education

10:50-11:40 一般演題9 09**心理・看護3**

座長：高野 歩 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所診断治療開発研究室)

09-1 Mindful Alcohol Drinking (MAD) 尺度作成の試み

高橋 誠¹⁾、森本 哲介²⁾

¹⁾ 神奈川大学 ²⁾ 兵庫教育大学

09-2 身近な人とのコミュニケーションスキルに焦点づけた少年の大麻再使用防止のためのプログラムの効果

中島 美鈴¹⁾、平井 祥一²⁾、森 治美³⁾、嶋根 卓也⁴⁾

¹⁾ 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター臨床研究部 ²⁾ 福岡県保健医療介護部薬務課

³⁾ 福岡県警察本部生活安全部少年課 ⁴⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部

09-3 コロナ禍において飲酒傾向が変容したパーソナリティに関する一考察

加藤 篤士

十文字学園女子大学 教育人文学部 心理学科

09-4 Gambling Impact Scaleの構成概念妥当性の検討：確証的因子分析による検討

土方 郁美

茨城大学

09-5 学生アスリートにおけるアディクションリスクの影響要因

新井 清美¹⁾、近藤 協子¹⁾、今井 恭子²⁾、太原 靖一郎³⁾、鶴身 孝介⁴⁾、森田 展彰⁵⁾

¹⁾ 信州大学 学術研究院保健学系 ²⁾ 早稲田大学 スポーツ科学学術院 ³⁾ 共栄大学 国際経営学部

⁴⁾ 京都大学大学院 医学研究科 ⁵⁾ 筑波大学 医学医療系

The 60th Annual Meeting of Japanese Medical Society of Alcohol and Addiction Studies

第60回日本アルコール・アディクション医学会学術総会

プログラム

一般演題（ポスター）

10月24日(金) ポスター会場 [特別会議室101-103 (1F)]

16:00-17:00 ポスター発表1 P1

内科・法医学

座長：則竹 香菜子 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科 法医学分野)

P1-1

救急領域に蔓延する、アルコール依存症へのスティグマ
～自己責任論が治療方針へ与える影響についての考察～

松田 悠伴、宇仁田 亮、寺嶋 真理子、岸本 真房

兵庫医科大学病院 救命救急センター

P1-2

覚せい剤の精神依存形成におけるユビキチンリガーゼの関与

水尾 圭祐、服部 栞、仲村 たいが、山口 智佳、渡邊 智

札幌医科大学法医学講座

P1-3

死亡直前の飲酒状況に及ぼす同居者の影響

山崎 元太郎、近藤 武史、片田 竜一

神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学・健康科学講座 法医学分野

P1-4

法医解剖事例からみる自宅が‘ゴミ屋敷化’したアルコール使用障害者の実態

姫宮 彩子、高木 望波、森永 蘭加、高瀬 泉

山口大学大学院医学系研究科法医学講座

P1-5

経皮的フェンタニル薬剤の経口服用による若年死亡事例

三浦 颯人¹⁾、宮尾 昌¹⁾、阿比留 仁^{1,2)}、長井 秀樹^{1,2)}、古川 翔太¹⁾、川合 千裕¹⁾、立野 真依子¹⁾、
南 博蔵^{1,2)}、笹尾 亜子³⁾、奈女良 昭⁴⁾、西谷 陽子¹⁾

¹⁾ 京都大学大学院医学研究科法医学講座 ²⁾ 京都大学大学院医学研究科附属総合解剖センター

³⁾ 熊本大学大学院生命科学研究部法医学講座 ⁴⁾ 広島大学大学院医系科学研究科法医学

P1-6

エチレングリコールの偶発的摂取により死亡した2症例の薬物分析の課題

則竹 香菜子、鶴沼 香奈

東京科学大学法医学分野

16:00-17:00 ポスター発表2 P2

精神科

座長：松本 俊彦 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

P2-1

アルコール離脱せん妄後にダンピング症候群を認めた1例

岩間 貴明、堤 祐一郎、二階堂 亜砂子、小澤 千紗

医療法人永寿会恩方病院

P2-2

AIチャットボットを用いたゲーム行動症ハイリスク群への早期介入プログラムの開発と
効果検証

桐山 知彦¹⁾、小林 七彩²⁾、尾崎 理沙¹⁾、小林 直¹⁾、多屋 優人¹⁾、目黒 巧巳³⁾、本庄 勝¹⁾、
用松 涼子²⁾、鈴木 遥香²⁾、治徳 大介²⁾

¹⁾ KDDI総合研究所 ²⁾ 東京科学大学サイバー精神医学講座 ³⁾ KDDI

P2-3**AIチャットボットを用いたゲーム行動症ハイリスク群への早期介入プログラムのユーザビリティ検証**

尾崎 理沙¹⁾、小林 七彩³⁾、桐山 知彦¹⁾、小林 直¹⁾、多屋 優人¹⁾、目黒 巧巳²⁾、本庄 勝¹⁾、
用松 涼子³⁾、鈴木 遥香³⁾、治徳 大介³⁾

¹⁾ KDDI総合研究所 ²⁾ KDDI ³⁾ 東京科学大学サイバー精神医学講座

P2-4**処方薬および市販薬使用障害患者における心理的特徴の比較検討**

石井 香織^{1,3,4)}、沖田 恭治^{2,3)}、齊藤 友美²⁾、吉澤 一巳⁴⁾、松本 俊彦³⁾

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター病院 薬剤部 ²⁾ 国立精神・神経医療研究センター病院 精神診療部

³⁾ 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 薬物依存研究部

⁴⁾ 東京理科大学大学院薬学研究科 疾患薬理学研究室

P2-6**アルコール使用障害患者の6か月予後について**

日向 彩^{1,2)}、斎藤 摩美³⁾

¹⁾ 愛知県精神医療センター ²⁾ 愛知県精神保健福祉センター ³⁾ 医療法人恵松会 河渡病院

P2-7**COMT (rs4680) 多型とギャンブル障害の発症に関する検討**

桂木 賢太郎¹⁾、谷垣 健二²⁾、濱本 綾華¹⁾、石川 柚木¹⁾、稲垣 貴彦¹⁾、岡山 奏美¹⁾、六田 泰央¹⁾、
安藝 森央¹⁾、柴田 真美¹⁾、蝦名 昂大¹⁾、竹村 有由¹⁾、竹内 秀暁¹⁾、川田 良作¹⁾、村井 俊哉¹⁾、
鶴身 孝介¹⁾

¹⁾ 京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学講座 (精神医学) ²⁾ 滋賀県立総合病院 臨床研究センター

16:00-17:00 ポスター発表3 P3**薬理学**

座長：山田 清文 (藤田医科大学 精神・神経病態解明センター)

P3-1**レスバトロールのアラキドン酸カスケードを介した血小板凝集抑制作用**

江川 可純、丸茂 幹雄、若林 一郎

兵庫医科大学医学部社会医学講座予防医学部門

P3-2**アルコール吸収相初期において嗅球一側坐核DA神経系同調が認められた**

吉本 寛司^{1,2,4)}、長尾 正崇²⁾、橋本 健志³⁾、村田 和太²⁾、中張 隆司⁴⁾、丸中 良典¹⁾

¹⁾ 京都工場保健会 総合医学研究所 ²⁾ 広島大学大学院医系科学研究科 法医学

³⁾ 立命館大学 スポーツ健康科学研究科 ⁴⁾ 立命館大学 総合科学技術研究機構

P3-3**新規合成オピオイドnitazene系化合物の薬理学的特性の解析**

富山 健一¹⁾、船田 正彦^{1,2)}

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部 ²⁾ 湘南医療大学 薬学部 薬理学研究室

P3-4**ニコチン誘発依存様行動に対するイフェンプロジルの抑制効果**

井手 聡一郎¹⁾、泉尾 直孝^{2,3)}、池窪 結子¹⁾、Uhl George R⁴⁾、曽良 一郎⁵⁾、新田 淳美²⁾、
池田 和隆^{1,6)}

¹⁾ 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト ²⁾ 富山大学 学術研究部薬学・和漢系

³⁾ 東京大学 先端科学技術研究センター

⁴⁾ Departments of Neurology and Pharmacology, University of Maryland School of Medicine, and
VA Maryland Healthcare System ⁵⁾ 神戸大学 大学院医学研究科デジタル精神医学部門

⁶⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部

P3-5

発達期の食習慣が飲酒におよぼす影響の解明

山口 保晴^{1,2)}、笠井 慎也^{1,3,4)}、長谷川 準子¹⁾、池田 和隆^{1,2,5)}

¹⁾ 東京都医学総合研究所 依存性物質プロジェクト

²⁾ 新潟大学大学院医歯学総合研究科 分子細胞医学専攻 神経精神薬理学分野

³⁾ 山梨大学大学院総合研究部 生命環境学域 ⁴⁾ 山梨大学 高度生殖補助技術センター

⁵⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部

16:00-17:00 ポスター発表4 P4

公衆衛生・疫学

座長：久松 隆史 (岡山大学大学院総合研究科公衆衛生学)

P4-1

被災地中長期支援におけるアルコール問題への支援プログラム「おじころ」の取り組み

渋谷 浩太¹⁾、菅野 希¹⁾、三品 竜浩²⁾、原 敬造^{1,3)}

¹⁾ 一般社団法人 震災こころのケア・ネットワークみやぎ ²⁾ 岩手県立大学 社会福祉学部

³⁾ 医療法人社団 原クリニック

P4-2

家庭内の蔵書数 (社会経済的状況の代替指標) によって青少年のインターネットやゲーム利用状況に差はあるか？

中山 秀紀¹⁾、樋口 進²⁾

¹⁾ 北仁会旭山病院 ²⁾ 独立行政法人久里浜医療センター

P4-3

ウェアラブル活動量計を用いたハイリスク飲酒がある人の睡眠質推定アルゴリズムの開発

大野 昂紀^{1,2)}、奥田 華代³⁾、瀬々 潤³⁾、松本 俊彦¹⁾、高野 歩¹⁾

¹⁾ 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部

²⁾ 慶應義塾大学 医学部 衛生学公衆衛生学教室 ³⁾ 株式会社ヒューマノーム研究所

P4-4

2025年若者の喫煙・飲酒・薬物使用調査JYPADの概要および回収速報

三好 美浩¹⁾、勝野 眞吾²⁾、西岡 伸紀³⁾

¹⁾ 岐阜大学医学部 ²⁾ 岐阜薬科大学薬学部 ³⁾ 京都女子大学心理共生学部

16:00-17:00 ポスター発表5 P5

心理・看護

座長：上村 公一 (東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 法医学分野)

P5-1

**子どものPIUに関連する家族要因の検討
—ペアレンタルコントロールと家族機能に注目して—**

森山 沙耶^{1,2)}、原田 隆之³⁾

¹⁾ 筑波大学人間総合科学学術院カウンセリング科学学位プログラム博士後期課程 ²⁾ 株式会社KENZAN

³⁾ 筑波大学人間系

P5-2

保護観察所の薬物再乱用防止プログラム受講者の再使用リスクを低減させる保護要因

金子 周平¹⁾、中島 美鈴²⁾

¹⁾ 九州大学大学院人間環境学研究院 ²⁾ 独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター

P5-3

小児期逆境経験がSNS依存に及ぼす影響 —解離傾向の媒介効果—

中谷 智美¹⁾、福井 義一²⁾、堀 孝司³⁾

¹⁾ 名古屋産業大学 ²⁾ 甲南大学 ³⁾ 甲南大学大学院人文科学研究科

P5-4

アルコール関連問題の類型化とアルコール使用障害との関連

辻本 耐^{1,2)}、柴山 笑凜^{1,3)}、古賀 佳樹¹⁾、浦山 悠子¹⁾、新田 千枝^{1,4)}、松下 幸生¹⁾、木村 充¹⁾

¹⁾ 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター ²⁾ 南山大学 社会倫理研究所

³⁾ 東京大学大学院教育学研究科附属 学校教育高度化・効果検証センター ⁴⁾ 筑波大学 医学医療系

P5-5

アルコール依存症患者の退院支援における精神科病棟看護師と訪問看護師との連携と役割

足立 円香

岐阜県立看護大学 看護研究センター